

豐田豐 とよた 豊六 劇作家、小説家、美術評論家。明治二十二年(1889)生(1)

九〇一)。雑誌『新演劇』同人。

著書『伴大納言繪詞』(昭和六年九月)二十五日出版タイム入社)、『岸

竹堂』(編著、昭和七年八月十五日莊人社)、戯曲『南蠻女怪記』(芳

川越原作、再版、昭和七年十一月二十五日)、『松堂書店)、戯曲集『仇

討論廻』(昭和八年八月五日全線社書店)、戯曲『狩野翁屋』(昭和

九年八月)、『資文堂書店)、『古畫』(評論隨筆編)、『(共編、昭和

九年十一月十五日古今堂)、『演劇解説』(昭和十一年一月十日學而

書院)、『上田麥徳の藝術』(猪木卓爾共著、昭和十二年一月)、『古

美術往來社・資文堂書店)、隨筆集『藝術清談』(昭和十六年九月)、『

十日古今堂』(『豊田豊美術評論全集』)、『左手』(畫之繪』(昭和十八

年四月)、『二十六日竹林堂双魚房)、『新日本美術讀本・第七輯』(昭和

二十一年七月十日日本美術研究所)等。

